

CASE
2

本社移転と健康経営の実践 ～健康を重要視した取り組みと働き方改革～

西松建設は、社員の健康促進などを目的とした健康経営を実践しています。2019年2月に「健康経営銘柄2019」に、総合建設業として初めて選定され、2020年3月末に移転した新本社においても健康経営を具現化したオフィスを実現しています。

社員の健康に関わる取り組み

西松建設では、社員の健康が企業の持続的な成長につながると考え、心身の健康維持増進を推進し、一人ひとりが健康に働ける職場環境づくりに取り組んでいます。

体の健康維持の取り組みとして、長時間労働の是正や全社的なウォーキングイベントの開催、人間ドックの受診費用補助を実施。心の健康維持の取り組みとして、単身赴任者の待遇改善やストレスチェックの受検勧奨と高ストレス者への

ケアなどを実践しています。これらの取り組みが評価され、経済産業省と東京証券取引所が共同で主催する「健康経営銘柄2019」に総合建設業（ゼネコン）で初めて選定されています。健康経営推進のトップランナーとして、今後も取り組みを積極的に実施していきたいと考えています。

▶ 詳細はP35のFocus: 健康経営を参照

本社移転プロジェクトの概要

2020年3月末に実施した本社移転は、「多様な働き方」や「風通しの良さ」、「部門間連携」を意識したオフィスとしての新機能を備えるだけでなく、レイアウト設計やカフェテリアの新設などにより、ハード面での働き方改革を具現化することに取り組みました。あわせて、個人の生産性の最大化、組織を超えたコミュニケーションの活性化、社会から注目される企業としての取り組みという3つの機能を備えるオフィス環境を整備することで、当社がめざす「新しい価値の創造」

健康経営を意識したオフィス設計

会社として掲げる「健康経営」を実践する一つの手段として、適度な歩行による健康増進コーナーや気分転換を図れるコーナーを設置しました。社内外の方が集まるカフェテリアでは、西松建設らしさが感じられるようなマテリアルで

の実現を目的としています。

本社移転プロジェクトには、若手社員を中心とする本社移転検討委員のメンバーがコンペで設計会社を選定。コンセプト「N's CREATORS ～変える 変わる あたらしい私へ～」を策定し、設計会社と議論を重ね、個々の社員が主体的に行動し、活発に意見を交換できる環境をめざしています。

構成するなど、感性が刺激されるような、遊び心のあるデザインとなっています。カフェテリアでは、栄養バランスを考慮した野菜中心のヘルシーメニューを提供しています。

MESSAGE

「挑戦するマインド」を醸成し、より大きな価値を創出できる拠点となるオフィス

私はふだんの業務で、お客様が使用される建物の意匠設計を担当しています。今回、チームの一員として参加したこのプロジェクトは自分たちが働くための環境づくりですから、貴重な機会であると同時に、「きっとおもしろいものになる」という確信を持っていました。

新オフィスのコンセプトである「変える 変わる あたらしい私へ」には、長年培ってきた企業文化を継承しつつ、新しいことに挑戦していくマインドが社員の中で自然に醸成され、西松建設としてより大きな価値を創出できる拠点にしたいという想いが込められています。

レイアウトや設えについては、「生産性の最大化」と「組織を超えたコミュニケーション」に重点を置きました。例えば自席以外にも、集中作業や共同作業、機密情報処理といった業務の特性に合わせて働く場所を選べるよう、多様な空間を設けています。また、各部門を仕切っていた書庫をなくし、部門を超えた交流を図りやすい動線を確保しました。床面積は、旧本社のオフィスよりも約50%拡大（2.3坪→3.6坪／1人）しています。

できあがったオフィスに対して、社員からは「私たちの会社じゃないみたい」という感想が寄せられました。もちろん、好

意的な意味です。2019年度から開始した服装の自由化とあいまって、ちょっとした“オシャレ”や“遊び心”などを取り入れたオフィスにすることで、堅実さだけではない当社のイメージを、社会にむけて発信できればと考えています。



建築事業本部
意匠設計部 設計二課
浦川 瑛人